



子どもの様子	ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 大きな崩れはないが咳や鼻水が出ていたり、発熱が見られる子が増えた。 おたのしみ会に向けての活動は個人差があったり、その時の気持ちでできない子もいるが全体的には楽しんで行っている。 友だちとの関わりを楽しむが、玩具をめぐるや自分の思いを通そうとしてトラブルになることも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを喜び、自信をもって生活をする。 共通のイメージをもって活動し、友達の関わりを深める。 身近な自然や季節の変化に気づき、冬の訪れに興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 4日(月)18日(月)英語 15日(金)クリスマスバイキング 身体測定・避難訓練 22日(金)冬のパーティー 25日(月)誕生会 29日(金)~31日(日)冬休み 	<ul style="list-style-type: none"> おたのしみ会は全員で参加することができ、達成感や友だちとのつながりが深まった様子が見られて良い経験となったと思う。友だちとブロックを作ったり、ごっこ遊びなど共通のイメージをもって取り組む姿が多くみられた。戸外で落ち葉や霜柱に触れ、心ゆの自然に関心をもつことができた。

内容		環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り
生命・情緒 健康・人間関係 環境・言語・表現 養護・教育	<ul style="list-style-type: none"> 気温や活動内容によって自分で衣服を調節できるように働きかける。 手洗い、うがいの意味を知り進んで行おうとする。 一人ひとりの体調の変化に注意し、感染症や体調を把握する。 子どもの成長している姿を認め、安心感と自信をもてるようにする。 身の回りのことや当番活動を進んで行う。 他児との関わりの中で自分の気持ちを表し、意欲的に遊ぶ。 友だちと一緒にイメージを共有しながら遊ぶ。 ルールのある遊びを楽しむ。 ロッカーや道具の掃除、片付けをして気持ち良く新年を迎えられるようにする。 風の冷たさや葉の落ちた木々に気付くなど身近な自然の変化に気づき、季節の移り変わりや冬の訪れを感じる。 自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする。 自分たちで共通の目的に向かって取り組み、表現する楽しみや喜びを分かち合う。 さまざまな素材や身近な自然物を使って飾りを作るなど表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 調節しやすい衣服を準備してもらおう。室温や換気に配慮する。 絵本などを用いて 水回りの安全を確認する。 一人ひとりの健康状態を把握し、体調の変化に気をつける。 落ち着いて過ごせるような雰囲気を作る。 安心して自分の気持ちを表せるような環境を整える。 園庭や広場に危険なものがないか注意する。 雑巾を人数分用意する。濡れてすべることのないように気をつける。 散歩先や戸外に出て身近な自然に触れる機会をもつ。 練習してきたことを自信をもって取り組める雰囲気をつくる。 いろいろな素材や技法を用いて表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の調節が必要なことを伝える。自分で調整できたことを認める。 手洗い、うがいの必要性を知らせる。傍について仕方を知らせる。 家庭と連絡をとり体調を把握する。 頑張っている姿、できるようになったことをしっかり認める。 自分でできたことを認める。個々に合わせた援助を行う。 自分のしたいことを相手に伝えられているか相手の言葉を聞いているかなどを読み取り、代弁したり相手に気持ちが向くように関わる。 イメージを共有する楽しさを味わえるよう引き出したり共感したりする。 保育士も一緒に遊びルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 掃除や整理の必要性を知らせきれいになった喜びを共感する。 子どもの気付きに共感する。 子どもの頑張っている姿を認め自信につながるようにする。 子どもの表現を認める。技法をわかりやすく伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 天候や活動により衣服の調節が必要なことを知らせ促すようにした。 紙芝居などで手洗いうがいの必要性を伝えるようにした。できるだけ側について、袖をまくことや石鹸の量、手洗いの手順など知らせるようにしたがまだ雑になってしまう子が多いので引き続き知らせていきたい。 保護者と連絡を取り合いながら個々の体調を把握し、触診や検温をするようにした。 身の回りのことや当番活動を進んで行う姿を認めて自信につながるようにした。 ブロック遊びやごっこ遊びなど他児と共通のイメージをもって遊び姿が多く見られる。その中でイメージの違いからトラブルになることもまだ多い。様子を見守り仲介した。 どろけいの集団遊びを楽しんでいる。悔しくて泣くこともあるが引き続き取り入れ集団遊びの楽しさが感じられたらと思う。 自分のロッカーや椅子などを掃除する機会を設け掃除の必要性を伝えたり気持ち良さを共感するようにした。 落ち葉や霜柱に触れ冬の自然に興味をもつことができた。 友だちとの言葉のやりとりが盛んであるが、言葉が足りないことや言い合いになることがまだまだ多く間に入り補うようにした。 おたのしみ会ではがんばっている姿を認めるようにした。 製作では個々の表現を認めるようにした。
	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーを守りながら食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気の中食事ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分で気付けるように声掛けをする。守りながら食べている姿を認めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのかかわり 施設に訪問しご老人と触れ合う。 散歩時に地域の方に挨拶をする。 長時間保育 暗くなるのが早くなり室内あそびが長くなるので危険のないよう注意する。